

会議録

会議名	令和3年度 第1回守山市スポーツ推進計画策定協議会
開催日時	令和3年7月30日(金) 午後7時から午後9時まで
開催場所	守山市立図書館 多目的室
出席者氏名	【委員】 大友智会長、向坂正佳副会長、大平雅子委員、森貴尉委員、柴田文雄委員、武藤幸弘委員、福井康裕委員、下宇宿勲委員、西村秀樹委員、西村金治委員、山崎清委員、今井美恵子委員、村田和哉委員 【市事務局】 総合政策部 山本毅部長、池田あづさ次長、スポーツ振興課 野洲好範課長、灘野純司係長、高木覚主査、布施明朗指導主事
欠席委員氏名	依田充代委員
傍聴人数	1人
会議次第	1 開会 2 総合政策部長挨拶 3 委員紹介 4 会長・副会長の選任 5 会長挨拶 6 議事 (1) 守山市の取り組み状況および現行守山市スポーツ推進計画について (2) 次期計画の方向性および今後のスケジュールについて (3) その他 7 閉会

発言者	発言内容等議事
事務局	1 開会
事務局	2 総合政策部長あいさつ
事務局	3 委員紹介(名簿順に自己紹介)
事務局	4 会長・副会長の選任
	会 長 大友智教授
	副会長 向坂正佳教育長
会長	5 会長あいさつ
	6 議事
	(1) 守山市の取り組み状況および現行守山市スポーツ推進計画
	について 資料1
	(事務局説明)
会長	40代、50代、80歳以上でスポーツ実施率が50%を超えている市を把握されているか。
事務局	後日確認をさせてもらう。
会長	先進市に視察に行くなど成功事例を学べば、手の打ち方がかわる。特に50代の方は、仕事を終えた後にどういう風に生きていくかの分岐点になる。その際に健康が重要。糖尿病予備軍が相当程度いるはず。健康をどうにかしないと思っている方が多い。それを市の方で仕掛ける。電通では、健康診断を受ければポイントを付与するなどの動きもある。そこを市として押していくことで、40代、50代に手を打てるのではないか。
委員	予防医学を専門としている。40代、50代は忙しいのがハードルになっていると思う。ただ、この層から運動を始めることは、その後の元気に年を取る上で大事であり、その意味で、健康という観点と繋げてスポーツを始める仕掛けが1つ良い方法だと思う。

	<p>40代、50代の方達が忙しい理由だけではなく何が原因で運動をされてないのか理由が分かってくると手の打ちようがあると感じた。P18 現行計画における課題①のグラフを見ると運動やスポーツをやる人と・やらない人が二極化している。やらない人は運動をしないと決めているが最初のステップになかなか行けなかったり、単発のイベントがあっても参加しづらいと思う。そのような方達が参加しやすい方法や継続しやすいサポートを考えていく。運動を習慣化させていくことが大切であるので、運動の形でなくても通勤にこの程度歩きましょうなどがスタートでも良く心理的なハードルを下げる取り組みも良い。</p>
委員	<p>平成23年から今日に至るまでの10年間、まずは現行計画の評価をしてほしい。本市の人口が増えていくなかでの予測や地域性などを十分に把握しないでこの計画に移っている感じがする。しかし、テニスコートやエコパークの整備など環境面はすごく整ってきている。また、総合型スポーツクラブもこの当時出来つつある頃で、結果的に1つしかできていない。健康面やスポーツの在り方など守山市の発展と関連していく重要な10年であった。資料に総評を書いてほしかった。男女どちらが運動不足なのか見極める必要があると思うが、働き方や子育てについて社会の在り方が変化している。こどもの送り迎え、買い物など時間がなかなかない。特に課題については、こどもに関連するものが多く、こどもの外遊びも減ってきているなか、スポーツのことをよく分かっていないこども達も増えていると感じている。こどもにとっての在り方が重要であり、それに関連して身近にいるアスリートが必要である。身近にいると憧れてスポーツをするこどもが増えていく。こどもを中心にした考え方も今後の計画の在り方に入れてほしい。</p>
委員	<p>オリンピック・パラリンピックの開催など、今スポーツに社会の目が向いている。その中で、スポーツに人それぞれの価値観があって、色々な参加の仕方や関わり方がある。守山市障害者スポーツ協会の立ち上げに際しては、障害の特性を活かした中でできるスポーツをしようと思っても、私を例に言うと外に出にくい、公共交通機関がないと自由に出ていけなくなっている。それぞれ障害を持つ方が、そのハードルをいかに超えるか、それを乗り越えた先にやりたいスポーツ、運動があり、そこに達することができない現状がある。それをなんとか打</p>

	<p>破していきたいという思いがあった。もう1つは、いまでは障害者スポーツが広く行き渡りつつあるが、一方で、障害者の方がするスポーツかなと思われている。誰でもできるスポーツとして市民のみんなと一緒にできる場づくりが大切だという思いで活動をしてきた。これらの課題を一緒に考え、乗り越え、これからの施策に反映していただければと思う。</p>
<p>会長</p>	<p>小学校は2020年度から中学校は2021年度から学習指導要領が改正され全面実施となった。体育の中身で、障害を持っている人と仲良くしましょう、色んな人の違いを認めましょうなどを小学校1年生から教えることで動いている。こども達がそのことを実感することになればとても良いと感じた。</p>
<p>委員</p>	<p>総合型地域スポーツクラブは、1つしかできていないと意見があったが、市の認識としては基本的には全7学区にできている。小津クラブは、学区人口は約6,000人、活動の理念として、学区の誰にも健康、感動、仲間をつくれる場所を提供し、スポーツを通じて健康づくりの取り組みを行っていく。ウォーキングについても毎月実施し、総勢400人程度の参加者がいる。これらを続けていくことが大事だと分かっている。ただ、やり始めた頃は私も40代であったが、現在60代になり70代の方もおられる。この状態を続けていくのは問題であり、後世に残すことが難しいことになってきている。大事なものは組織作りである。総合型に関しては、文化体育振興事業団と連携が大事であり、もっと大きくなっていくと事務的、環境面も含めて文化体育振興事業団に担っていただくのが1番良いと考える。</p>
<p>会長</p>	<p>組織をどのように作るかは大変。行政とタイアップしてどのように手を打つか。運動されている方は継続的にされているか。</p>
<p>委員</p>	<p>顔見知りになりコミュニティーができることになる。ここ数年ウォーキングの回数も増やしてきた。ただ、新しいアイデアを出すことが難しくなっている。</p>
<p>委員</p>	<p>総合型地域スポーツクラブと連携し様々なイベントをさせてもらっている。独自に総合型広域スポーツクラブとして教室を行い、ハードルを低くして参加や継続してもらいやすいようにしている。教室の終</p>

委員	<p>了後も続けたい場合は、スポーツサークルの作り方を教えるところまでサポートしている。それが総合型に繋がればと取り組んでいる。参加人口を増やそうと思うと、総合型が入口として市民に1番近いと思うので力を入れていかないと思っている。</p> <p>今は守山市の大きい計画を考えているが、本当は、個々の小さい単位自治会や町で関わるとみんなが参加しやすいと思う。例えば学区での広報だけでは行きにくい人もいる。それを町ですていくと人が寄りやすいと思う。先に意見があった40代、50代への取り組みとして、糖尿病、高血圧などの予防を楽しみながらできるプログラムを作って情報発信ができれば良いと思う。広い部分から視野を変えるのも必要。</p>
会長	<p>年齢層によりターゲットが違うと感じた。例えば高齢の方は公民館までは行きやすい。40代、50代の方ならエコパークなども行ける。</p>
委員	<p>資料19ページ上の総合型地域スポーツクラブの自主運営以外のクラブとは、学区ごとにある学区連絡協議会の部会と連携をとってスポーツ活動をしていることの意味合いだと思う。クラブの立ち上げの際には、各学区のスポーツ推進委員も中心となり関わっている。私に関わる吉身学区のクラブでも活動する上で人材確保などの課題が出てきている。コロナの影響で昨年度は活動をやめ、この4月から対策を取りながら始めたものの参加者は3～4人になり1/10以下に激減してしまった。今回、会館と連携し、小学校のこども達に活動案内のチラシを配布した。吉身学区ではコロナの影響を受けている。</p>
委員	<p>吉身学区でグラウンドゴルフ大会をする事になった時に、町内で長年やっている人が5～6人しかいなかった。高齢化の問題もあり、自治会でグラウンドゴルフの同好会を立上げ40人が集まった。中には週に5～6回活動する人もいる。自治会で底辺を広げることが良い。また、老人クラブのスポーツ大会も楽しい。それを自治会に持ってきてこどもと高齢者でイベントをする。スポーツをする機会を増やしていきたい。自治会、老人クラブ、こども会の連携でスポーツを広げていくのも1つである。スポーツをしている、楽しんでいるかアンケートを自治会でやると良いデータが取れると思う。特に高齢者は、グラウンドゴルフが終わってからの会話で地域のコミュニケーションが図れ、そこで生きがい歓びが生まれていく。</p>

会長	どのくらいの方が守山市のなかで運動して、効果をあげているか。運動の回数、何人がされているかクリアに出せると良いな。そういうのを蓄積して行って守山市の状況を市民に見せることは良いことだと思う。
委員	資料 13 ページのスポーツ実施率のアンケートについて、令和 2 年度の数字でコロナのなか 50%を超えている状況であるが、令和元年度にアンケートをされていないのか。
事務局	毎年は行っていない。
委員	前回は何年か。
事務局	平成 27 年に行っていると思う。
委員	令和 2 年度の数字を信じて良いのか。スポーツクラブの会員数がどこも激減しているなかで、本当にスポーツ実施率が上がっているのか。精査したなかで、アフターコロナ、ウィズコロナのなかで、どのように計画を立てていくのが大事。学区の中でも高齢者率が全然違う。地域に活動の場があるかどうかで変わってくる。高齢者が多い所にどうアプローチしていくのか。来てもらうだけでなく、出向いてやってもらう。きっかけ作りが必要かと思うので今後の計画に盛り込んでいけたら。
会長	運動する場所と年齢層の関係を分析してはどうかとの意見でした。
委員	守山でふるさと大使をさせていただき、毎年 12 月に、文化体育振興事業団と連携しサッカー教室を開催し 100 人位集まっている。守山をスポーツの町で盛り上げたい。大事なことは若い世代がこの計画を知っているかどうか。今は SNS など情報を見ていて、その発信が不足している。私も総合型スポーツクラブは正直知らなかった。先ほど存続が難しい現状を聞いて、若い世代にバトンタッチをしていくことが重要だと思う。若い世代はスポーツに関心が高く、情報が伝わっていないだけで指導者として総合型に参画したいと思う人もいるはずである。総合型と生涯スポーツを絡める仕組みを行政からの援助を受けながら作らないと、そこに人は入ってこない。スポーツはボランテ

<p>会長</p>	<p>ィアの風潮があるがこの転換期にビジネスと考え、若い世代へアプローチをする。</p> <p>また、こども達のスポーツレベルの低下も懸念される。滋賀県はスポーツテストの順位が40番位である。施設は整っているが活用法や教室の情報が果たして行き渡っているのか。誰がどのようにブランディングして発信していくのか。スポーツでまちを一体化させる取り組みやみんなでスポーツを通じて健康寿命を延ばせながらやっていければ良いと思う。アスリートについても、本市出身のJリーガーは4人いるが知られていない。市民がクローズアップしていない。身近に感じてもらうことが必要。</p> <p>いかに情報を出すか大きな課題である。また、いかに組織をつくるか。特に現行計画の課題でアスリートの発掘についても意見をいただいた。</p> <p>(2) 次期計画の方向性および今後のスケジュールについて 資料2 (事務局説明)</p>
<p>会長</p>	<p>次回会議に示される計画の骨子案に本日の会議での意見が反映される。気づきがあれば意見を言ってもらえると良い。スポーツ少年団の団員数が減っている結果であるが、地域のスポーツクラブに入っている影響なのか、把握が必要。全体として増えていると良いことである。</p>
<p>委員</p>	<p>スポーツ少年団に陸上が入っていない。スポーツクラブの加入年齢が下がり、小学生から強いクラブチームに入っている状況である。</p>
<p>会長</p>	<p>守山市出身で活躍されているスポーツ選手のボードを見るだけでもうれしいような気がする。</p>
<p>委員</p>	<p>スポーツ少年団などへの助成は出ているのか。</p>
<p>事務局</p>	<p>スポーツ協会やスポーツ少年団の国体種目への助成をしている。国体に向けて象徴となるアスリートを育てたい。全ての競技は難しいので、種目を絞りアスリートを輩出したい。</p>
<p>委員</p>	<p>市として総合型クラブにどれくらい助成をされているのか。</p>

事務局	1 クラブあたり年間上限 25,000 円になる。
委員	スポーツ協会の役員にも事前に話したいので、事前に第 2 回の会議資料をいただきたい。検討するにはある程度データも必要であり、どの程度それを求めるか。
会長	10 月 6 日の次期計画の骨子案が出るスケジュールをもう少し早めに骨子の前段階の情報を出せるか。例えば見出しのようなレベルで。
事務局	9 月上旬に会長と副会長に素案を相談し、各委員には会議の 10 日前までに資料を送りたい。
委員	それで良いと思う。
委員	スポーツ少年団の強化種目は決めてしまうのか。
事務局	象徴となるアスリートを育てるとしたら 1～2 種目と言わせてもらった。アスリートまではいかなくても子ども達がスポーツを楽しむのが大事。上段のスポーツに設定したものだけではなく、少しでも体を動かしてもらい健康づくりをしてもらいたい。
委員	5 年間のテーマを次回までの会議に事務局が決めるのか。
事務局	本日の意見を踏まえて、次回の会議で骨子案を作るのでそれに意見をいただきたい。説明したスケジュールでいきたいと思っているが、議論を十分にしたなかで作成するのが大事であるので、計画の策定が今年度中に縛られるわけではない。
委員	目標、理念がバラバラである。目標となる部分を頭におかないと考える次の施策につながっていかない。この期間でできるのか質問をした。
会長	資料 2 のなかで方針について事務局の考えが示されている。今日は色々な論点を出してもらおうのが主題となる。9 月に先に会長・副会長から見せてもらい、各委員には事前に資料を渡し、意見を出しやすいようにしていく。

事務局	委員より、滋賀県ゴールボール協会からのお知らせがあります。
委員	配布資料の説明。
	閉会